

2024年2月分の消費支出における「うるう年」の影響に関する試算

1 日数の影響

4年に一度のうるう年における2月の日数は29日で、通常の年より1日多くなっているため、消費支出やその内訳を見る際には留意が必要である。

2 うるう年による影響として消費支出の対前年同月実質増減率を2.2ポイント押し上げ（試算）

家計調査では、月極めで支払う場合が多い品目^{注1}を除いた日別支出の結果表^{注2}を公表している。この結果を利用して、うるう年をみの2024年2月29日分の消費支出を除き、前年と日数を合わせて消費支出を試算してみると、対前年同月実質増減率は2.7%の減少となり、公表値の方が2.2ポイント高い結果となっている（表）。

表 うるう年調整後の消費支出（二人以上の世帯）

費目 (品目分類)	支出金額 [円]				対前年同月実質増減率 [%]		
	2023年2月 公表値	2024年2月 公表値	2024年 2月29日 公表値	2024年2月 うるう年調整後 試算値	2024年2月 公表値	2024年2月 うるう年調整後 試算値	ポイント差
消費支出	272,214	279,868	6,348	273,520	0.5	2.7	2.2
食料	76,771	82,072	2,235	79,837	2.0	0.8	2.8
住居	15,499	17,270	565	16,705	9.5	6.0	3.5
光熱・水道	35,275	27,860	94	27,766	18.6	18.9	0.3
家具・家事用品	9,800	10,095	391	9,704	2.0	5.8	3.8
被服及び履物	7,168	8,206	184	8,022	11.6	9.1	2.5
保健医療	13,372	14,893	495	14,398	9.4	5.8	3.6
交通・通信	39,746	40,442	730	39,712	1.1	2.9	1.8
教育	8,513	12,199	7	12,192	41.5	41.4	0.1
教養娯楽	25,491	26,955	368	26,587	1.5	2.8	1.3
その他の消費支出	40,578	39,876	1,279	38,597	4.8	7.9	3.1

注1) 学校給食、家賃地代、火災・地震保険料、電気代、ガス代、上下水道料、家事代行料、清掃代、定期代（鉄道、バス）、有料道路料、年極・月極駐車場借料、保険料（自動車、自動車以外の輸送機器）、電話通信料（固定、携帯）、授業料等、補習教育、新聞、月謝類、放送受信料、インターネット接続料、保育費用

注2) 第6-16表を利用